

## ② 環境に関する県民意識の概要

三重県では、行政の各分野に対する県民の満足意識等を把握し、県政運営に活用することを目的に、毎年一万人アンケートを実施してきました。2011年度（平成23年度）の当該調査結果は、以下のとおりです。

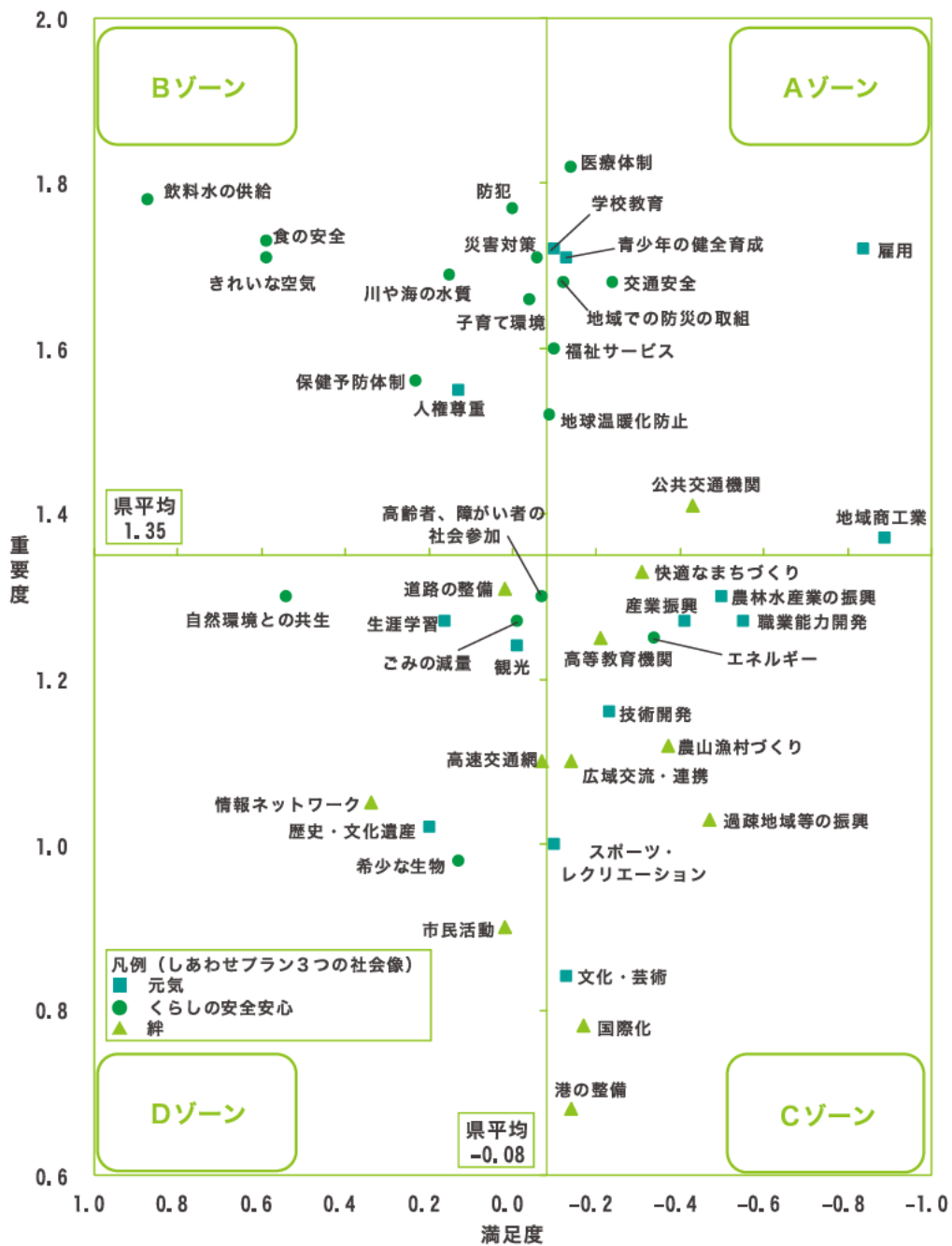
行政の各分野のうち環境関連分野における重要度、満足度の相関関係（図－1）を見ると、県民ニーズが高いゾーン（重要度が高く、満足度が低いゾーン）に入った分野は、「地球温暖化防止」でした。

また、同じく重要度が県平均を上回るゾーンに入った分野は、「飲料水の供給」、「きれいな空気」、「川や海の水質」でした。

一方で、重要度がほぼ県平均ラインにあった分野が、「ごみの減量」、「自然環境との共生」、「快適なまちづくり」、「公共交通機関」、「エネルギー」で、このうち、満足度が県平均を下回った分野は、「快適なまちづくり」、「公共交通機関」、「エネルギー」でした。重要度が低いゾーンには、「歴史・文化遺産」、「希少な生物」が入っています。

なお、環境関連分野の経年変化を見ると、不満意識（図－2）においては2008年度（平成20年度）以降多くの分野で減少傾向が見られます。重要意識（図－3）においては、大きな変化は見られませんでした。

図-1 各分野の重要度と満足度（重要度と満足度の関係）（平成23年度）



（注1）重要度と満足度

行政の各分野における重要意識と満足意識の全体傾向を把握するため、選択肢に得点をつけ回答者数で割り平均化した値を、重要度、満足度としています。

（重要（満足）+2、どちらかといえば重要（満足）+1、どちらともいえない0、どちらかといえば重要でない（不満）-1、重要でない（不満）-2）

（注2）各分野における重要度と満足度の相関関係

図-1は重要度と満足度の相関関係をグラフに表したものです。

この図は、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、それぞれの平均値で十文字に境界線を引いたもので、上に行くほど重要度が高く、右に行くほど満足度が低くなっており、県民ニーズの観点から4つのグループにゾーン分けしています。

（重要度の県平均値：1.35 満足度の県平均値：-0.08）

図-2 環境分野別不満意識経年変化

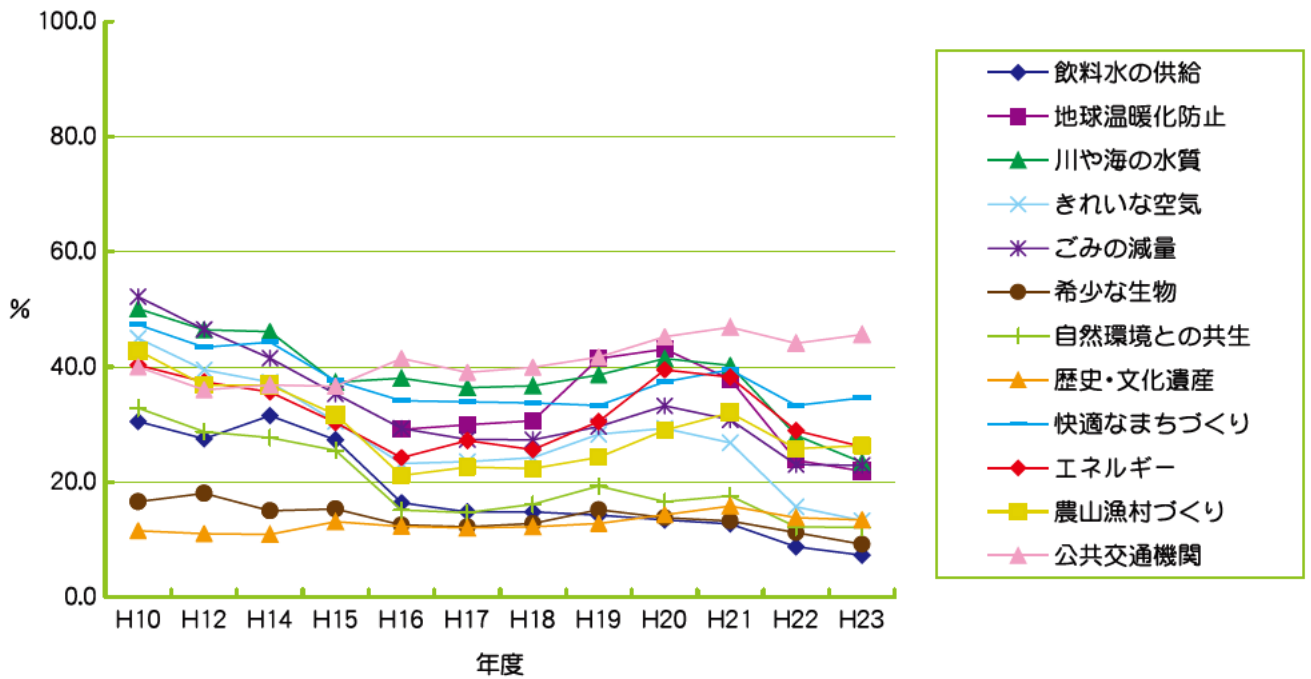
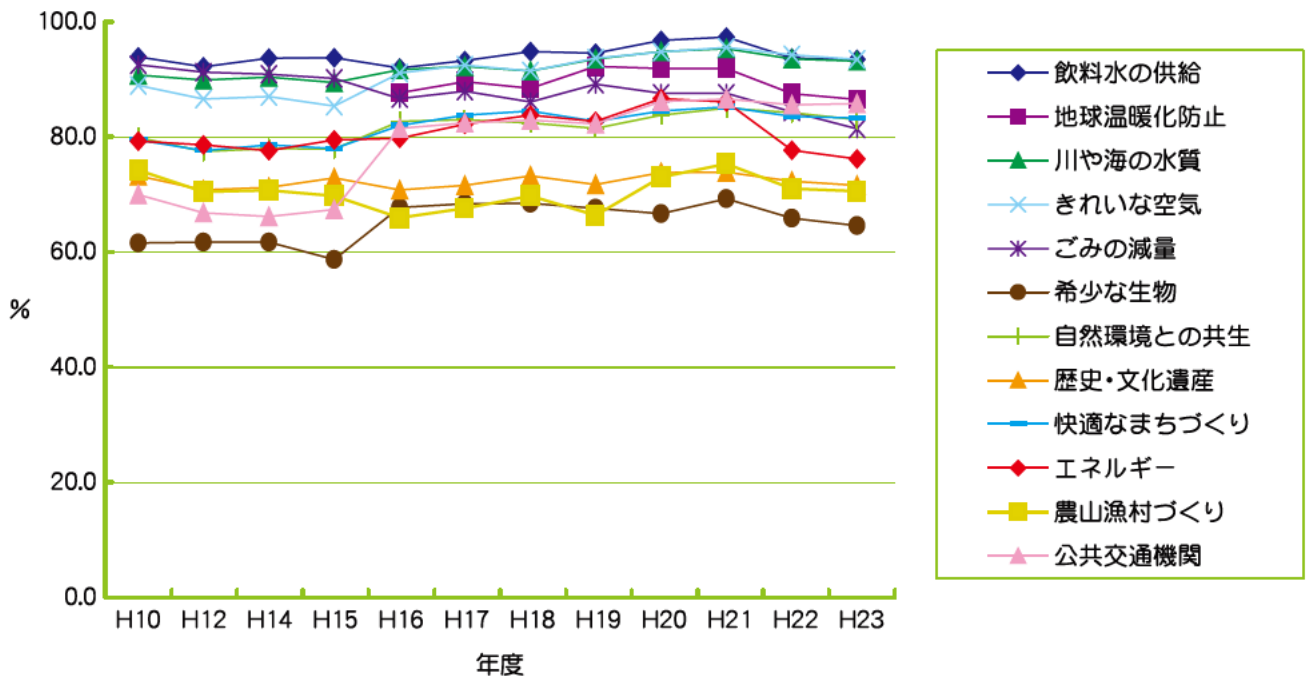


図-3 環境分野別重要意識経年変化



※地球温暖化防止は2004年度(平成16年度)から調査項目に入りました。